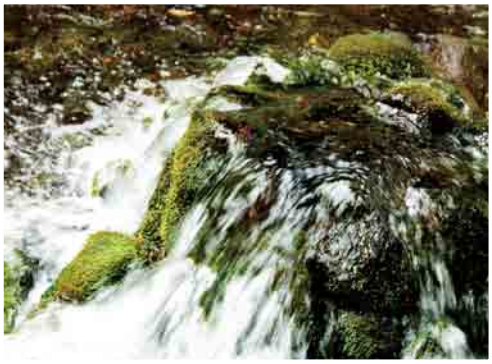
DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「上水道の地下水利用率」と「養殖うなぎの出荷量」です。



上水道の地下水利用率　検索

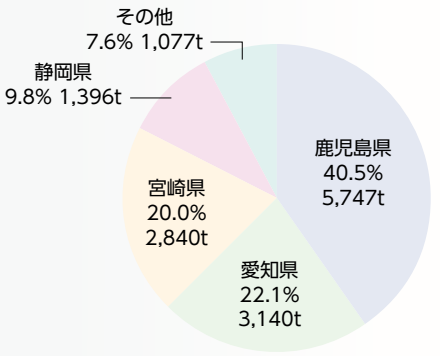
養殖うなぎの出荷量　検索

養殖うなぎの出荷量

日本で消費されるうなぎの99%は養殖です。うなぎの生態は謎に包まれていて、卵から育てる完全養殖の技術は確立されておらず、黒潮に乗って日本にやってきた天然のシラスウナギ（うなぎの稚魚）を漁獲し、養殖しています。鹿児島県は、シラスウナギの漁獲量が多く、ミネラル豊富な地下水にも恵まれ、日本最大（国内シェア約40%）のうなぎ養殖地となっています。

土用丑の日（今夏は7月29日）に食べると夏バテしないと言われるほど、うなぎにはビタミンAやカルシウム、鉄分などの栄養素が豊富に含まれています。うなぎを美味しく食べて、夏バテを吹き飛ばしましょう。

養殖うなぎの出荷量（平成25年）



（出所:農林水産省「平成25年海面漁業生産統計調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成）

上水道の地下水利用率

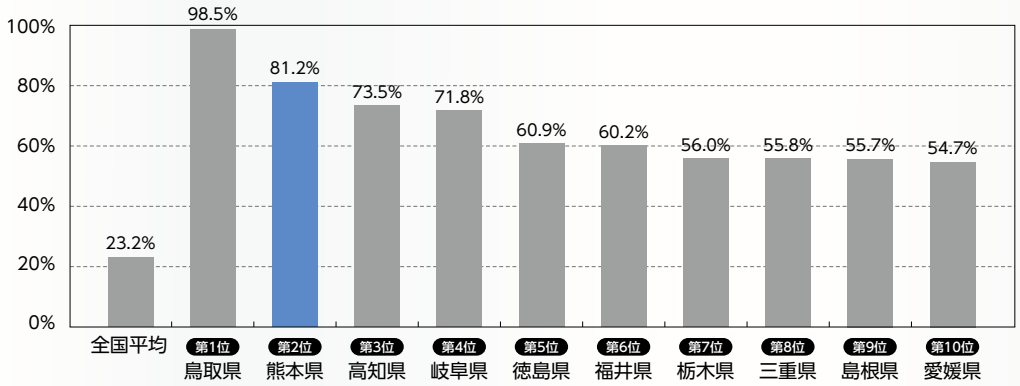
「火の国」（※）熊本は、4つの水源が名水百選に選定される「水の国」でもあります。太古の阿蘇山噴火で厚く積もった堆積物の層に蓄えられた雨水が、長い年月をかけて磨かれ、豊かな名水が生まれています。

熊本県内の上水道の８割超は、こうしてできた豊富な地下水で賄われており、その水準は全国２位となっています。中でも熊本市は地下水利用率100%で、人口50万人以上の大都市としては日本唯一です。

ダム等の水源と違い、清澄（せいちょう）な地下水は最小限の消毒で済むため、本来の味を保ち、「おいしい水道水」として各家庭の蛇口へ届けられています。

※火の国…長崎・佐賀・熊本の周辺には火山が多いことから「火の国」と呼ばれ、転じて「肥の国」となったのち、前後に分けられ「肥前」「肥後」となった。「火の国」と書く場合、熊本県を指すことが多い。

上水道の地下水利用率（平成22年度）



（出所:公益社団法人日本水道協会「水道統計」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成）

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しつつある

福岡県の景気は、個人消費に消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られるものの、主要指標である生産が上昇基調にある等、総じて持ち直しつつあります。

生産は、消費税増税前の駆け込み需要対応が一服し、輸送機械が低下したものの、全体では前月並みの水準を維持する等、持ち直しつつあります。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、大型小売店販売額が前年を大きく下回りました。住宅建設にも消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

(森山 裕司)

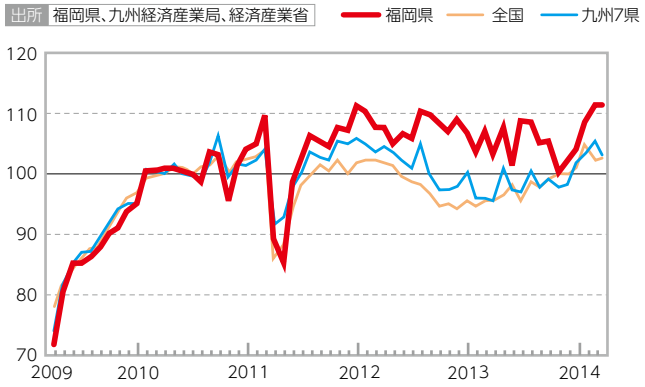
1.生産活動 | 持ち直しつつある

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は111.1と前月比0.2%減少しました。

主要業種では、四輪自動車が減産となった輸送機械が低下したものの、集積回路の生産が増加した電子部品・デバイスが上昇する等、生産は持ち直しつつあります。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

出所 福岡県、九州経済産業局、経済産業省



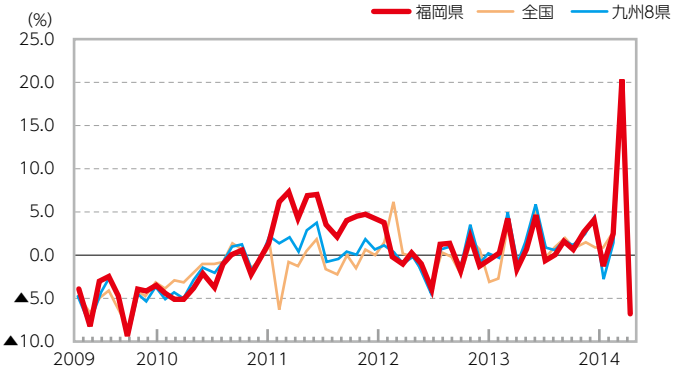
2.個人消費 | 消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られる

4月の大型小売店販売額は、前年同月比7.3%減の496億円となりました。

主力の衣料品、飲食料品ともに消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られ、前年同月を大きく下回りました(衣料品は同8.7%減、飲食料品は同1.6%減)。

■福岡県の大型小売店販売額(前年比)

出所 九州経済産業局、経済産業省

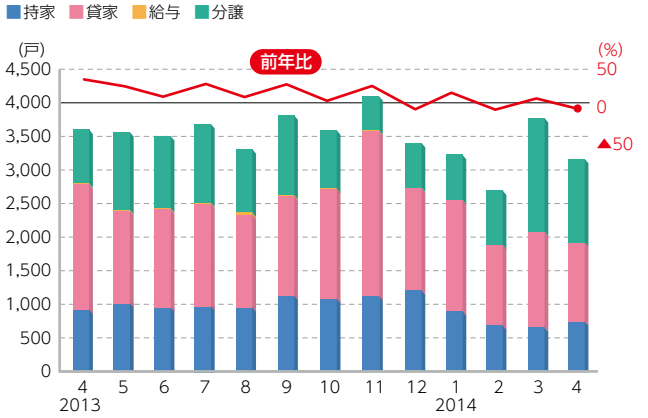


3.住宅建設 ｜ 消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られる

4月の新設住宅着工戸数は、3,181戸と前年同月比10.4%減少しました。

「持家」「貸家」が前年を大きく下回り、全体を押し下げました。消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

■福岡県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

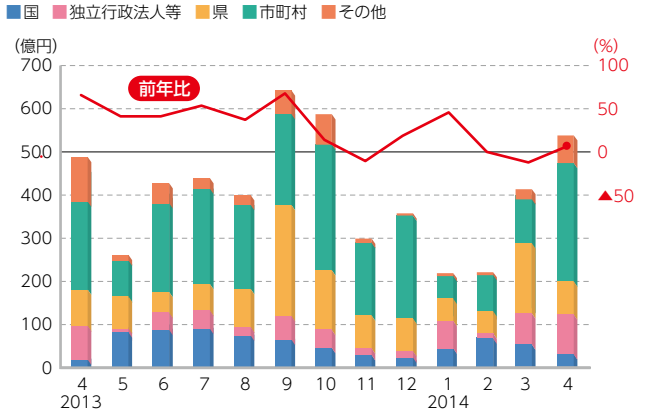


4.公共工事 ｜ 2ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比6.6%増の581件、金額が前年同月比13.0%増の542億円となりました。

発注者別では、東九州自動車道関連工事があった「独立行政法人等」、地下鉄建設や青果市場新築等の大型工事があった「市町村」等が前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

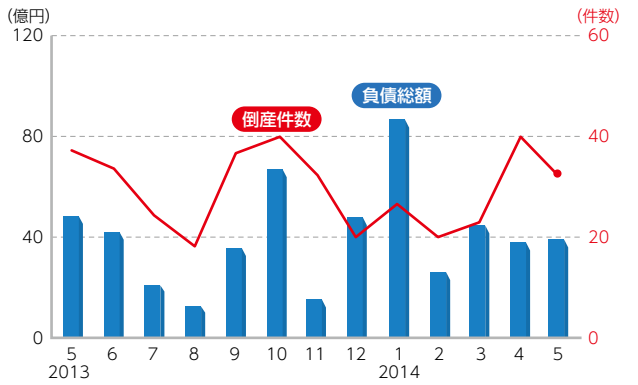


5.企業倒産 ｜ 負債総額、件数ともに前年を下回る

5月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比10.8%減の33件、負債総額は同18.3%減の約39億円となりました。

太陽光発電関連で約14億円の大型倒産が発生しましたが、負債総額、件数ともに前年を下回っています。

■福岡県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

熊本県の景気は、個人消費に消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られますが、主要指標である生産が増加基調にある等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、電子部品・デバイスや輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により大型小売店販売額が減少しています。住宅建設は前年並みの水準を維持しています。

（大仲 陽介）

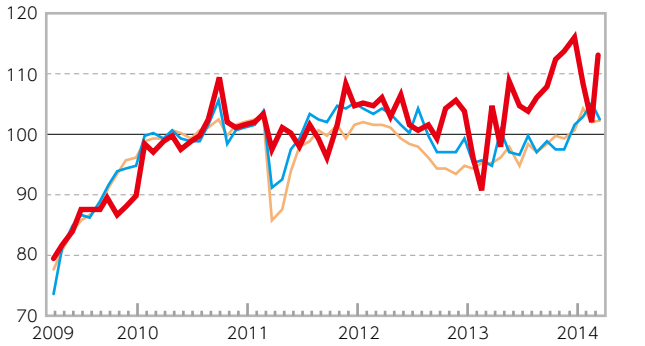
1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

3月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は112.3と前月比10.3%上昇しました。

主要業種では、自動車やスマートフォン向け半導体の生産が好調な電子部品・デバイスや、四輪自動車関連の生産が堅調な輸送機械が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

出所 熊本県、九州経済産業局、経済産業省

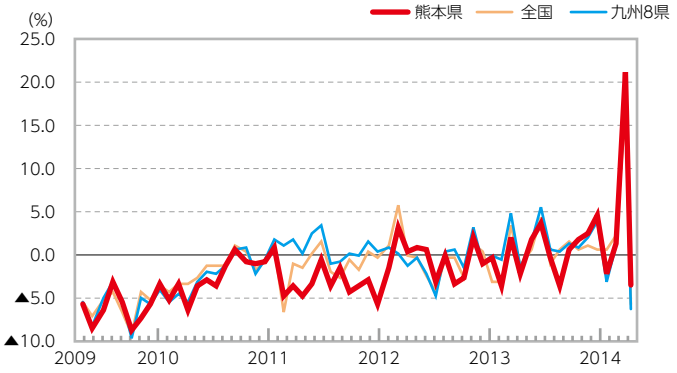


2.個人消費 | 消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られる

4月の大型小売店販売額は、前年同月比4.0%減の123億円となりました。

消費税増税前の駆け込み需要の反動で、宝飾品や寝具・呉服等の高額品を中心に、前年を大きく下回っています。

■熊本県の大型小売店販売額（前年比） 出所 九州経済産業局、経済産業省



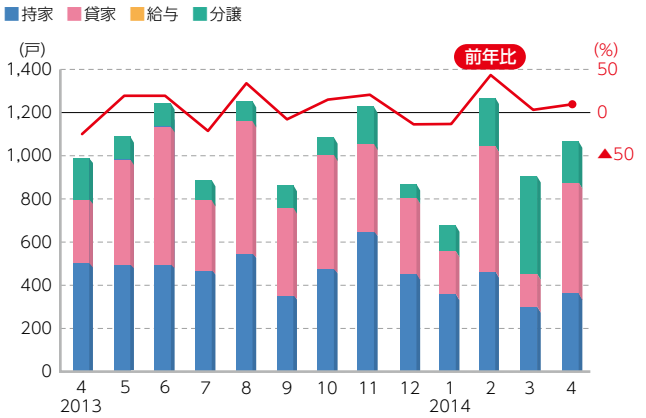
Kumamoto

3.住宅建設 ｜ 底堅く推移している

4月の新設住宅着工戸数は、1,061戸と前年同月比7.9%増加しました。

「持家」「分譲(マンション)」が前年同月を下回りましたが、「貸家」が大きく上回る等、住宅建設は底堅く推移しています。

■熊本県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

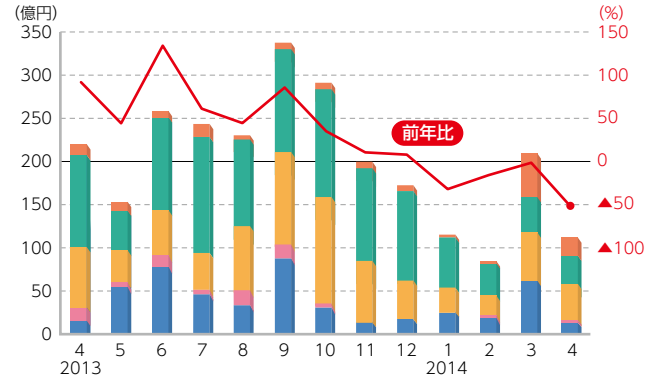


4.公共工事 ｜ 4ヵ月連続で前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比37.6%減の304件、金額が同51.8%減の110億円となりました。

発注者別では、「独立行政法人等」と「市町村」の発注が低調となりましました。

■熊本県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 ｜ 負債総額、件数ともに低水準に抑制

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比57.1%減の3件、負債総額が同7.1%増の約4億円となりました。

印刷業で約3億円の倒産がありましたが、負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■熊本県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ

長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、個人消費に消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られるものの、主要指標である生産は持ち直しの動きが続いており、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により前年を大きく下回りました。住宅建設にも、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

（下田 大氣）

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

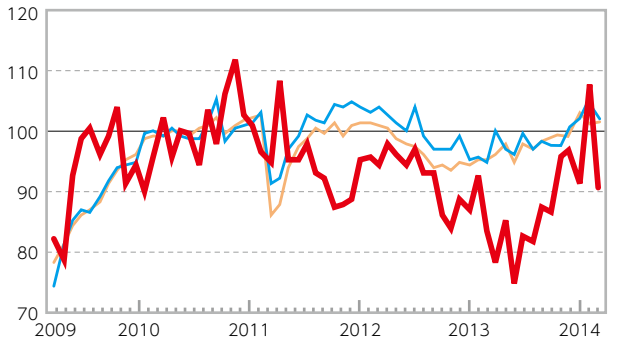
3月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は91.6と前月比14.9%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも、持ち直しの動きが続いています。

主要業種では、半導体集積回路の生産が減少した電子部品・デバイスや、修繕船が減産となった輸送機械が低下しました。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

出所 長崎県、九州経済産業局、経済産業省



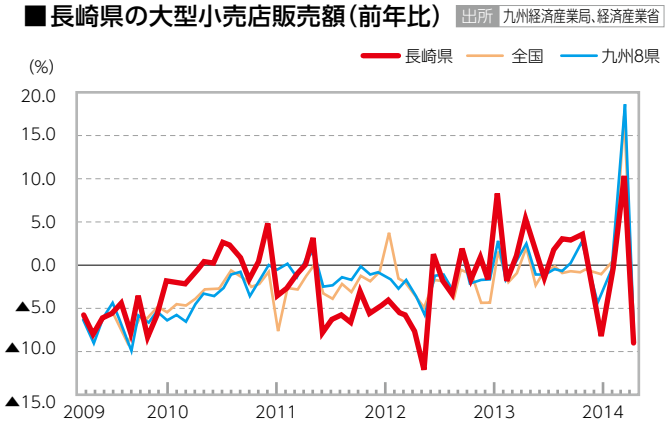
2.個人消費 | 消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られる

4月の大型小売店販売額は、前年同月比8.6%減の83億円となりました。

主力の衣料品、飲食料品ともに消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られ、前年同月を大きく下回りました（衣料品は同11.8%減、飲食料品は同4.6%減）。

■長崎県の大型小売店販売額（前年比）

出所 九州経済産業局、経済産業省



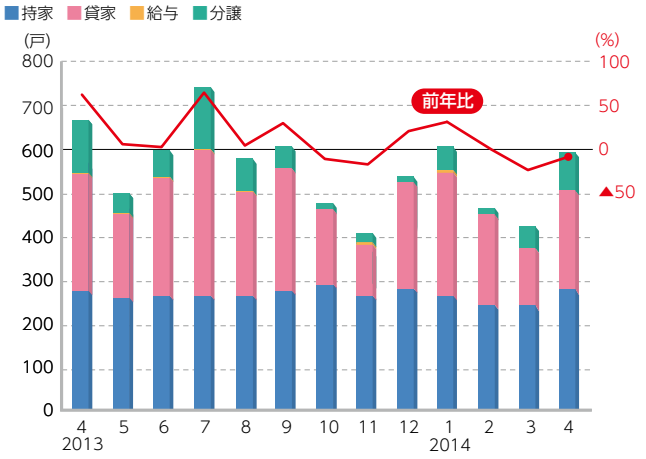
Nagasaki

3.住宅建設 | 消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られる

4月の新設住宅着工戸数は、588戸と前年同月比12.1%減少しました。

「持家」は前年並みとなりましたが、「貸家」、「分譲」は前年を下回りました。消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

■長崎県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

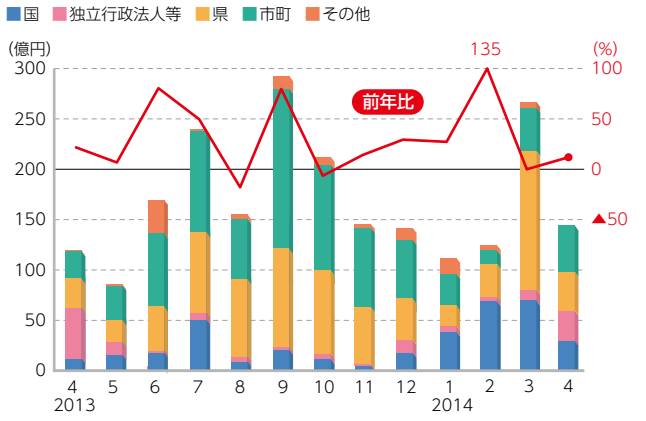


4.公共工事 | 6ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比5.6%増の152件、金額が同約15.3%増の144億円となりました。

発注者別では、トンネル工事の大型案件があった「国」が前年を大きく上回っています。

■長崎県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

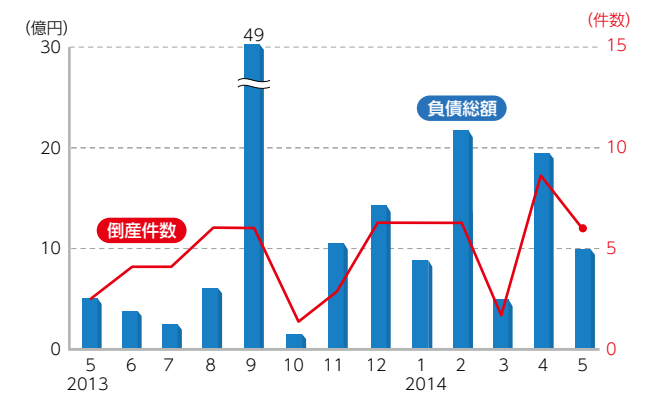


5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

5月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比2倍の6件、負債総額が同59.4%増の約10億円となりました。

医療関連業で約7億円の大型倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

佐賀県の景気は、個人消費が消費税増税前の駆け込み需要の反動により減少したものの、主要指標である生産が上昇基調で推移する等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、入浴剤や接着剤の増産により化学が上昇する等、足元では上向きの兆しが見られます。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要の反動により、前年を下回りました。住宅建設にも、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

（下田 大氣）

1.生産活動 | 足元では上向きの兆しが見られる

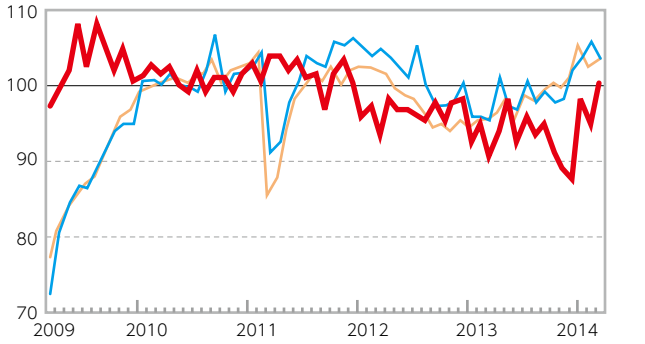
3月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は99.8と前月比5.7%上昇しました。

生産は、足元では上向きの兆しが見られます。

主要業種では、入浴剤や接着剤が増産となった化学が上昇しました。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

出所 佐賀県、九州経済産業局、経済産業省



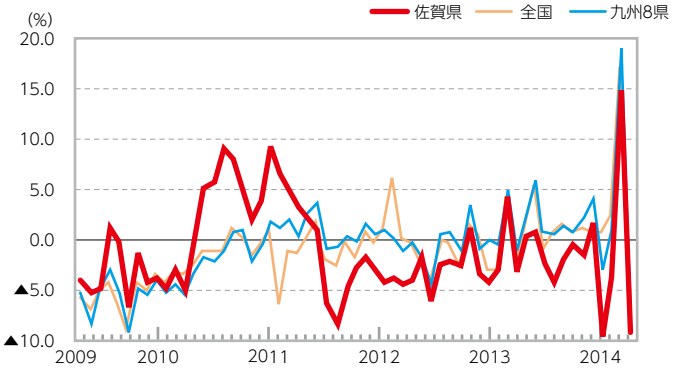
2.個人消費 | 消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られる

4月の大型小売店販売額は、前年同月比9.3%減の47億円となりました。

主力の衣料品、飲食料品ともに消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られ、前年同月を大きく下回りました（衣料品は同12.0%減、飲食料品は同5.3%減）。

■佐賀県の大型小売店販売額（前年比）

出所 九州経済産業局、経済産業省

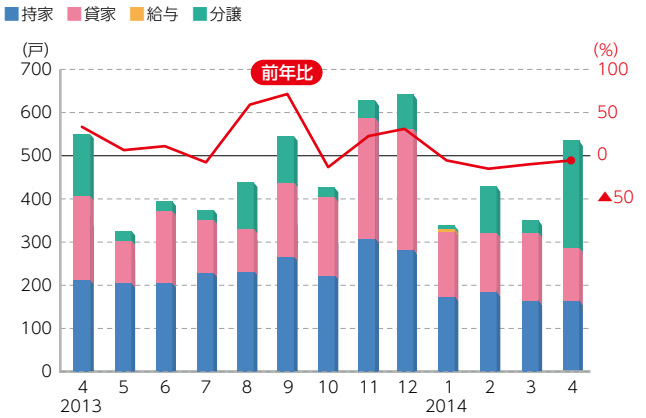


3.住宅建設 | 消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られる

4月の新設住宅着工戸数は、527戸と前年同月比3.5%減少しました。

「分譲(マンション)」は前年を上回りましたが、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を大きく下回り、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

■佐賀県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

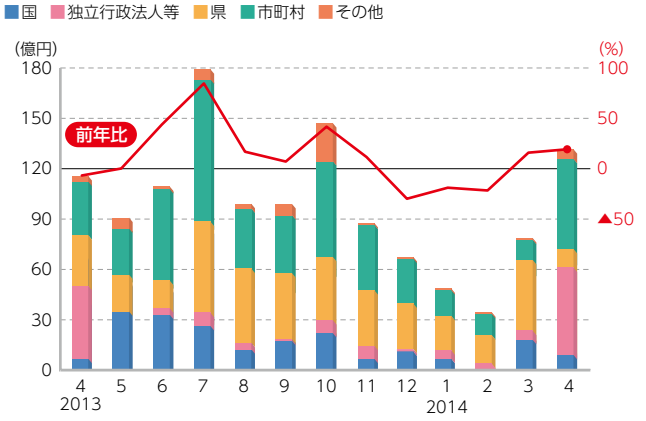


4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比14.8%増の186件、金額が同19.8%増の135億円となりました。

発注者別では、九州新幹線(西九州)関連の大型案件があった「独立行政法人等」や、学校改築工事等の発注があった「市町村」が前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

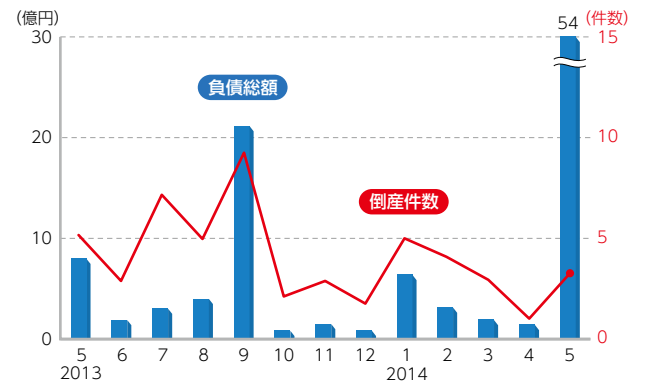


5.企業倒産 | 大型倒産発生により負債総額は大幅増加

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%減の3件、負債総額が同約7倍の約54億円となりました。

パチンコ業関連で大型倒産が発生し、負債総額は前年を大幅に上回りました。

■佐賀県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

大分県の景気は、個人消費に消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られるものの、主要指標である生産が増加基調で推移する等、総じて持ち直しの動きが見られます。

生産は、自動車向け内装部品等が増産となったプラスチック製品が上昇する等、持ち直しの動きが見られます。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要の反動で大型小売店販売額が前年を大幅に下回りました。住宅建設は、底堅く推移しています。

（松永 圭史）

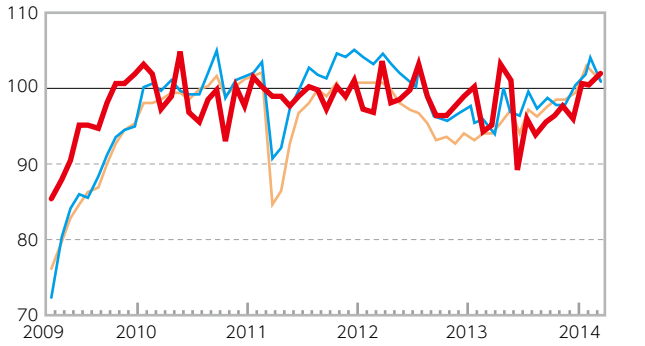
1.生産活動 | 持ち直しの動きが見られる

3月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は103.7と前月比2.3%上昇しました。

主要業種では、自動車向け内装部品等の生産が増加したプラスチック製品や、セメントが増産となった窯業・土石製品が上昇する等、生産は持ち直しの動きが見られます。

■大分県の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

出所 大分県、九州経済産業局、経済産業省



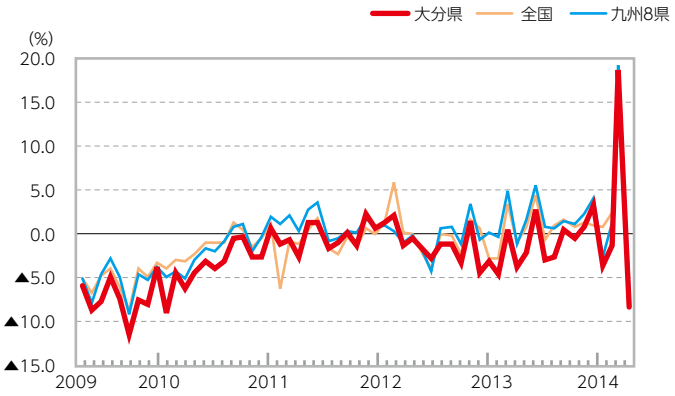
2.個人消費 | 消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られる

4月の大型小売店販売額は、前年同月比8.5%減の83億円となりました。

消費税率引き上げ前に駆け込み需要が大きかった高額品を中心に反動減が見られ、前年を大きく下回っています。

■大分県の大型小売店販売額（前年比）

出所 九州経済産業局、経済産業省

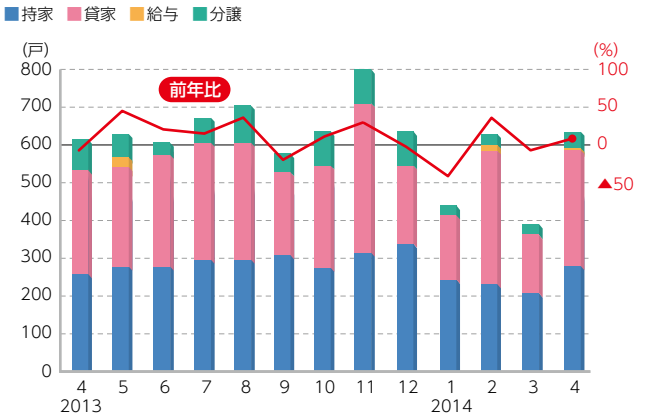


3.住宅建設 ｜ 底堅く推移している

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比6.0%増の635戸となりました。

「分譲(マンション)」は着工がなく前年を下回りましたが、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回る等、住宅建設は底堅く推移しています。

■大分県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

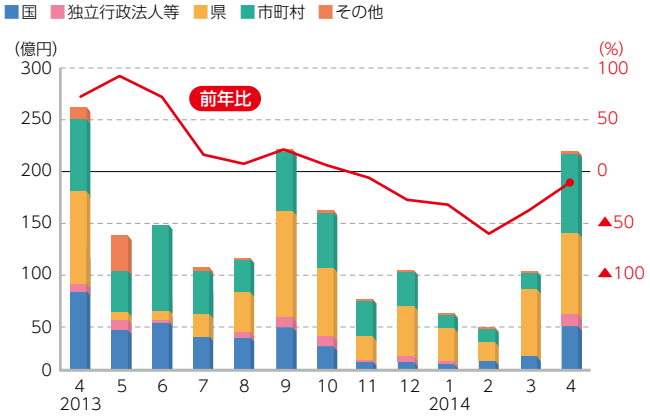


4.公共工事 ｜ 6ヵ月連続で前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比34.0%減の225件、金額が同15.4%減の219億円となりました。

発注者別では、大学施設改修工事があった「独立行政法人等」が前年を上回りましたが、「国」や「県」で前年を大きく下回っています。

■大分県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

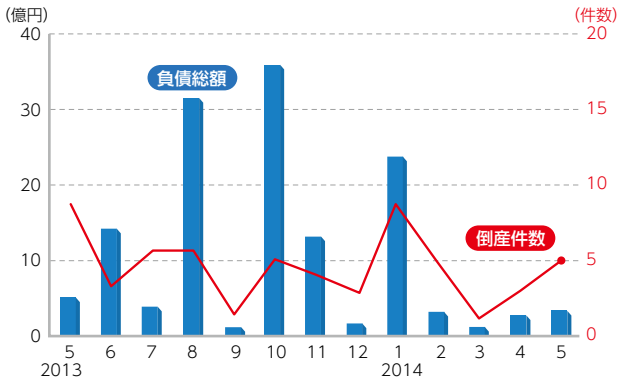


5.企業倒産 ｜ 負債総額、件数ともに低水準に抑制

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比44.4%減の5件、負債総額が同36.7%減の約3億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、個人消費に消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られるものの、主要指標である生産が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は食料品が低下したものの、底堅く推移しています。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要の反動で大型小売店販売額が前年を大きく下回りました。住宅建設にも消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られます。

(松永 圭史)

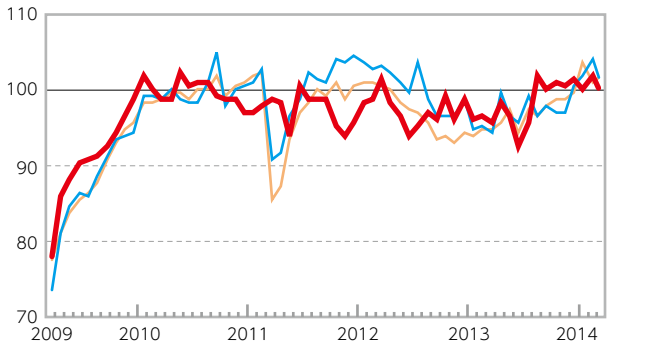
1.生産活動 | 底堅く推移している

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.6と前月比1.5%低下しました。

主要業種では、工場設備の定期補修により飲料が減産となった食料品が低下したものの、生産は底堅く推移しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

出所 宮崎県、九州経済産業局、経済産業省

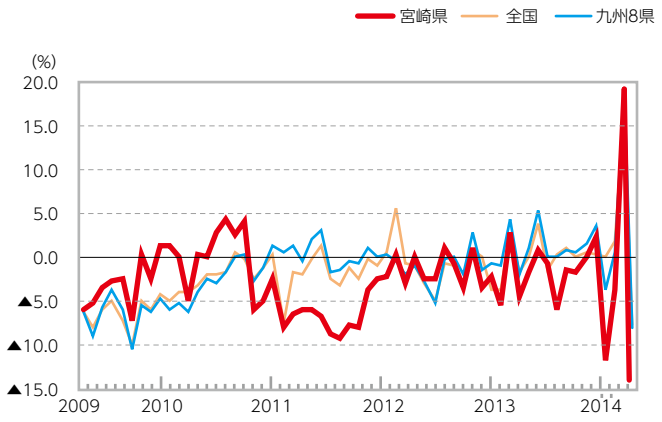


2.個人消費 | 消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られる

4月の大型小売店販売額は、前年同月比12.7%減の61億円となりました。

消費税率引き上げ前に駆け込み需要が大きかった高額品を中心に反動減が見られ、前年を大きく下回っています。

■宮崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省

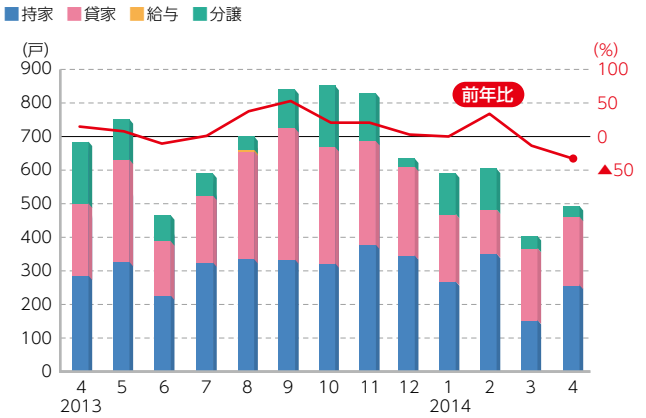


3.住宅建設 ｜ 消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られる

4月の新設住宅着工戸数は、485戸と前年同月比27.9%減少しました。

全ての項目で前年を下回っており、消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られます。

■宮崎県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

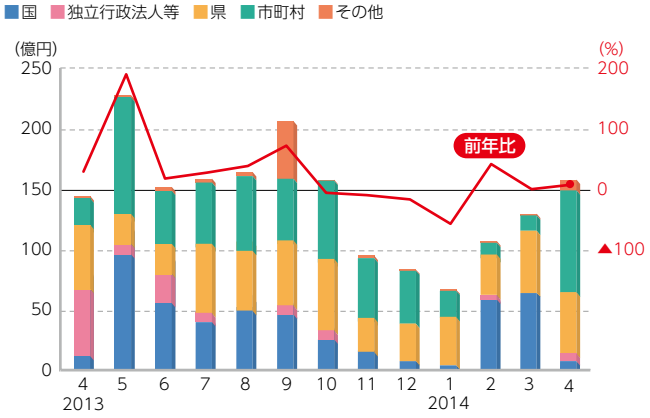


4.公共工事 ｜ 3ヵ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比9.5%増の276件、金額が同13.6%増の161億円となりました。

発注者別では、ゴミ処理施設建設工事の大型案件があった「市町村」が前年を大きく上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証

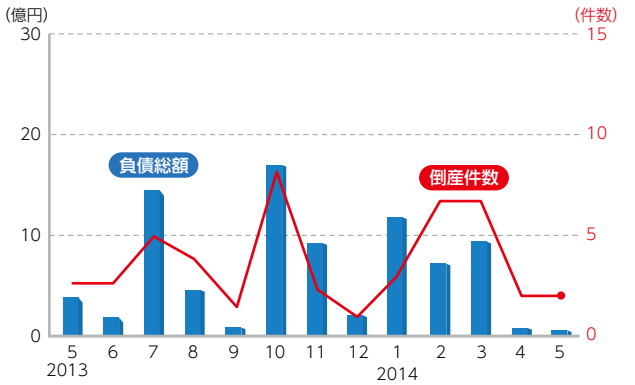


5.企業倒産 ｜ 負債総額、件数ともに低水準に抑制

5月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額が同87.7%減の約1億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 ｜ 持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、個人消費に消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られるものの、主要指標である生産は底堅く推移しており、持ち直しの動きが見られます。

生産は月次の振れを伴いつつも底堅く推移しています。個人消費は、消費税増税前の駆け込み需要と反動により大型小売店販売額が大きく増減しています。住宅建設にも消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られます。

（森山 裕司）

1.生産活動 ｜ 月次の振れを伴いつつも底堅く推移している

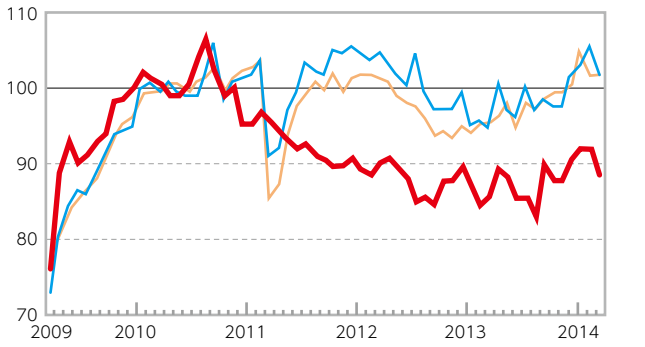
3月の鉱工業生産指数（季節調整値）の動きを見ると、総合指数は87.4と前月比5.2%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも底堅く推移しています。

主要業種では、パソコン部品が減産となった電機・情報通信機械や、はん用・生産用機械等が低下しました。

■鹿児島の鉱工業生産指数の推移（季節調整済、2010年=100）

出所 鹿児島、九州経済産業局、経済産業省



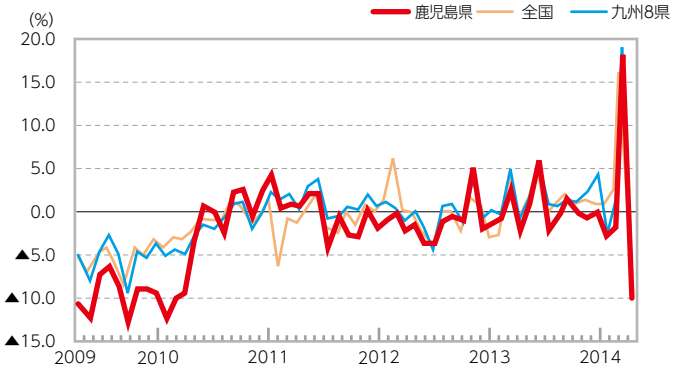
2.個人消費 ｜ 消費税増税前の駆け込み需要の反動減が見られる

4月の大型小売店販売額は、前年同月比9.9%減の115億円となりました。

消費税増税前の駆け込み需要の反動で、家電やバッグ等の高額品を中心に前年を大きく下回っています。

■鹿児島の大型小売店販売額（前年比）

出所 九州経済産業局、経済産業省



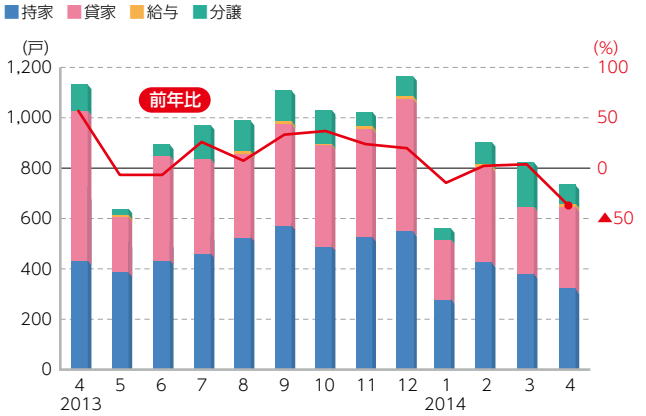
Kagoshima

3.住宅建設 ｜ 消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られる

4月の新設住宅着工戸数は、747戸と前年同月比34.4%減少しました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を大きく下回り、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数　出所 国土交通省

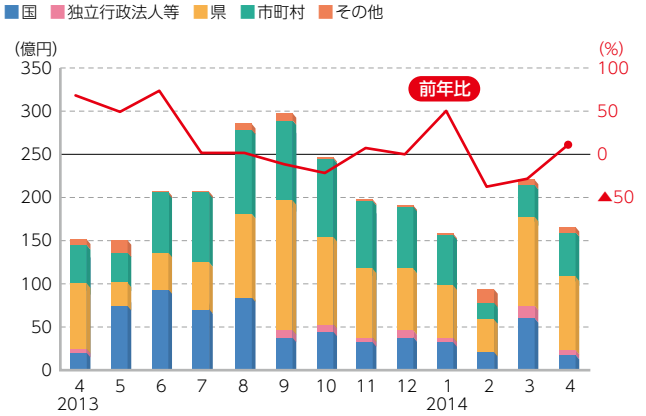


4.公共工事 ｜ 3ヵ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比16.0%減の310件、金額が同7.4%増の168億円となりました。

発注者別では、高速道路の補修工事があった「独立行政法人等」や「市町村」が前年を上回り、全体でも3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高　出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 ｜ 負債総額、件数ともに低水準に抑制

5月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比37.5%減の5件、負債総額が同95.4%減の約3億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■鹿児島県の倒産状況　出所 東京商工リサーチ